信長も観た。六百年の時代絵巻

Owari Tsushima Tennoh Festival

尾張津島 天王祭

© The Trustees of the British Museum.(2017)

尾張津島天王祭の車楽舟行事 **ユネスコ無形文化遺産**
UNESCO Intangible Cultural Heritage

国重要無形民俗文化財
National Important Intangible Cultural Asset

宵祭 7/27(土)
午後6時から

朝祭 翌日朝 28(日)
午前9時10分から

場所 **天王川公園** 愛知県津島市 （小雨決行）

7/27(土) 尾張津島天王祭 おもてなしイベント

■ おもてなし市場 午後3時から午後9時
■ 路上パフォーマンス 午後5時から午後7時30分

場所 天王通り2～5丁目

未来クリエイター愛知

天王川公園 宵祭プログラム

	夜 6:00	6:30	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30	10:00
祭事		場所:車河戸				ゆうゆうと津島笛の音に乗りこぎすすむまきわら船			
		●如意点火（提灯に点火開始）			●迎え（神社からの使者によるまきわら船の迎え）	出船 8:15	場所:丸池	御旅所着	
水上イベント 花火		水上イベント・花火(随時)							

今年から出船が30分早くなります。但し、天候・出船の状況等により変更及び中止になる場合があります

宵祭

7月27日 土

午後6時から 天王川公園（小雨決行）

米之座（こめのざ）・今市場（いまいちば）・筏場（いかだば）・下構（しもがまえ）・堤下（とうげ）の津島旧五ヶ村から、屋形中央高く真柱（ましばしら）を立て、一年の月数、その下に一年の日数、正面にひと月の日数の提灯や絹灯篭など、約五〇〇個の提灯をかかげた、五艘のまきわら船が津島楽を奏でながら、丸池に漕ぎ出て、灯りが川面に映るさまは、幽玄の極みであります。

ユネスコ無形文化遺産

尾張津島天王祭

車楽舟行事

天王川公園～津島神社 朝祭プログラム

今年から出船が30分遅くなります。但し、天候・出船の状況等により変更及び中止になる場合があります

朝祭

7月28日(日)

午前9時10分から 天王川公園(小雨決行)

明けて朝、夜中の内に様変わりした津島五車と、先頭の市江車の6艘のだんじり舟は、屋台の上に等身大の能人形を飾り、古楽を奏でながら悠々と丸池に漕ぎ出て御旅所に向かう様は、王朝絵巻を見るようです。

池の中ごろまで進むと、先頭の市江車から十人の鉾持（未婚の男子）が布鉾を背負い池に飛び込み、御旅所まで泳ぎ着くと、神輿に拝礼し神社まで走り抜け神輿還御の先祓いとして道中を祓い清め神前に布鉾を奉納します。

市江車 布鉾奉納

市江車の鉾持が神社に奉納した布鉾のしずくを患部につけると病気やケガが治るという言い伝えがあります。

津島車楽舟
(高さ約14m)

六百年の歴史と伝統を今に伝える

尾張津島天王祭

天王祭の由来

天王祭のながれ

14日(日)
斎竹立（いみだけたて）

朝祭を迎える2週間前に祭に参加する各町の境に、神社より手渡された斎竹（しめ縄を張った青竹）を立て、町を清浄にします。

津島祭礼図屏風 宵祭

25日(木)
● 午前8時
船分け

祭に使用する船を古式により、宵祭の2日前の早朝に風流な「くじ」で分配します。
「くじ」で決められた船を車河戸に漕ぎ、屋台をのせて、祭の準備を始めます。

26日(金)
● 午後8時
稚児打廻し（ちごうちまわ）

天王祭に奉仕する稚児には、5～7歳の男児が選ばれ、宵祭の前日夕刻、華麗なる装束（古式衣装）を着け、花鳥帽子（はなえぼし）を被り撥（こうはし）を肩に掛けて、車屋から肩車で供回りと共に祭船の船上にて奏楽。その後、行列を整え津島神社に向かい、拝殿前を三回打廻し、稚児披露と祭の安全を祈った後、車屋に戻ります。

宵祭 27日(土)

如意点火～提灯点火

神輿渡御（みこしとぎょ） ● 午前10時

宵祭・朝祭を御神覧いただくため、神輿が津島神社より供揃と共に御旅所に向かう様は厳粛であります。

神輿渡御

如意点火～提灯点火（にょいてんか） ● 午後6時30分

まきわら船の真柱（まばしら）に点灯する12個の提灯を、当番車の太鼓を合図に、競いあってあげたあと、各部分の提灯点火が進められます。

出船 ● 午後8時15分

赤船に乗った神社の迎えの神職の挨拶をうけたまきわら船は、当番車から順次漕ぎ出します。

“津島さん”“天王さん”と呼ばれて親しまれている「津島神社」は、1470余年もの伝統がある牛頭天王の総本社

天王祭は津島神社の祭礼として600年近く続いています。その起源には、諸説ありいまだ明らかではありませんが、長禄3年（1459）の記録が残されており、それ以前からおこなわれていたことは間違いありません。

弘治4年（1558）信長が天王祭を観覧したのを始め、豊臣秀吉や尾張藩主が頻繁に観覧しています。

天王祭は、古来旧暦6月14・15日に行われていましたが、昭和38年より7月第四土曜日（宵祭）翌日（朝祭）に改められ、昭和55年には国の重要無形民俗文化財に指定され、平成28年12月には、ユネスコ無形文化遺産に「尾張津島天王祭の車楽舟行事」として登録されました。

津島祭礼図屏風 朝祭　© The Trustees of the British Museum.(2017)

朝祭置物人形

先頭	当番	二番	三番	四番	五番
市江車	「高砂」米車	「敦盛」今車	「松風」筏場車	「西行桜」下車	「紅葉狩」提下車
（くじで決められます）	翁（シテ） 姫（ツレ）	平敦盛の霊（シテ） 蓮生法師（ワキ）	松風の霊（シテ） 旅僧（ワキ）	老樓の精（シテ） 西行上人（ワキ）	鬼神（シテ） 平維茂（ワキ）

朝祭 28日(日)

出　船（迎え）

稚児神前奏楽

市江車屋台おこし

宵祭には参加せず、待機していた市江車では、早朝5時から屋台・人形を横に組んで、下からいっきに組み立てます。

出船　●午前9時30分

赤船に乗った神社の迎えの神職の挨拶をうけただんじり舟は、市江車を先頭に津島車が順次漕ぎ出します。

神輿還御（みこしかんぎょ）　●午前10時30分

市江車・津島五車が御旅所に接岸し、稚児以下供回りが上陸し終わると神輿前で還御祭が行われた後、神輿を中心に供揃に続き、市江車・津島五車の稚児供廻りは列を整え神社に向かいます。その後神前奏楽を奉納し、盃事を終えて各車帰途につき、朝祭は終了します。

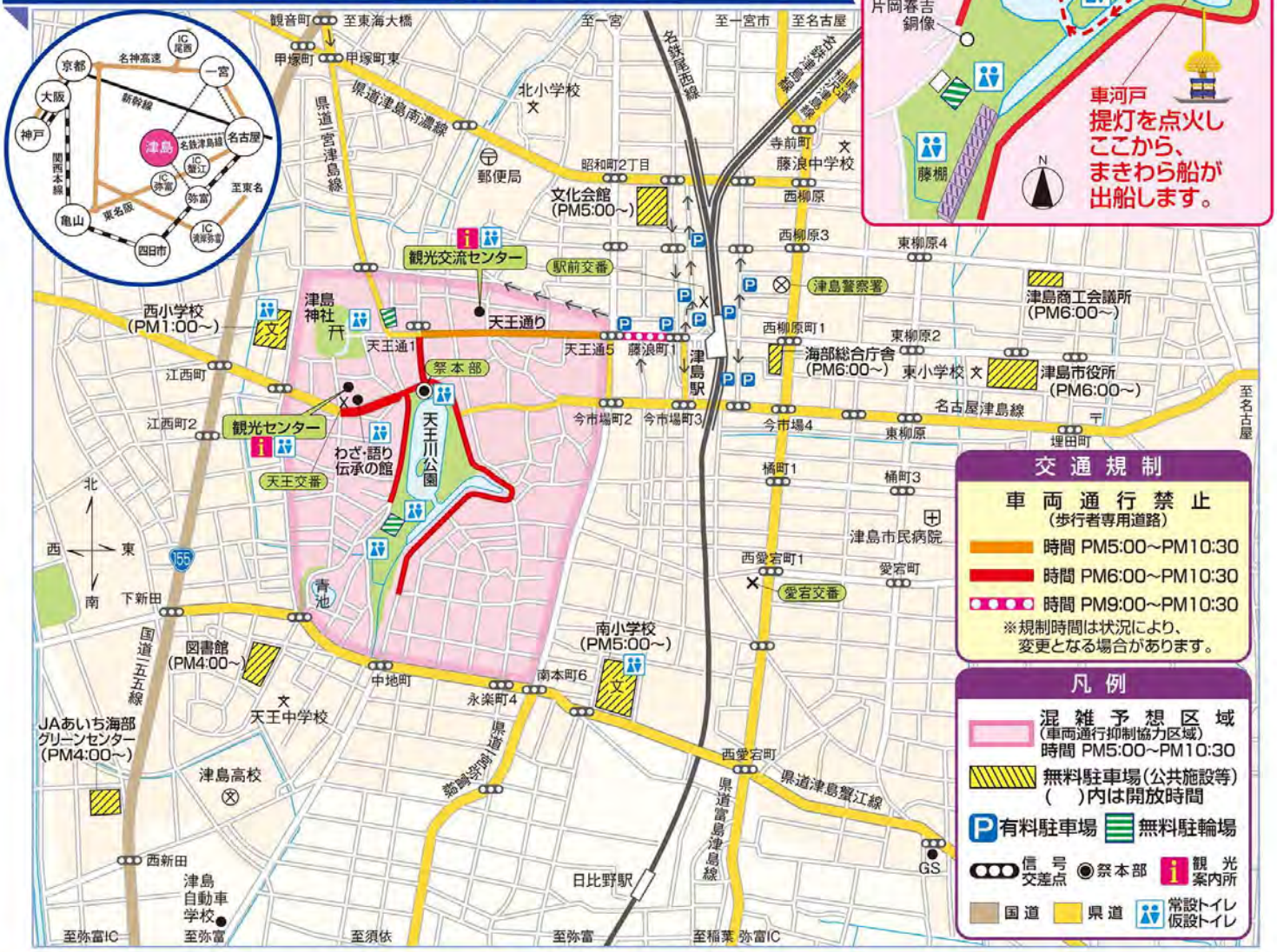
神輿還御

会場・交通規制のご案内

7月27日(土)まつり会場周辺の混雑予想時間は、
午後5時頃から午後10時30分頃です。
この間、自動車での通行はご遠慮下さい。

駐車場には限りがあり付近道路も駐車できません。
★ 電車・バスをご利用ください ★

● まつり会場図〈天王川公園〉



交通規制

車両通行禁止
(歩行者専用道路)

- 時間 PM5:00~PM10:30
- 時間 PM6:00~PM10:30
- 時間 PM9:00~PM10:30

※規制時間は状況により、変更となる場合があります。

凡例

- 混雑予想区域 (車両通行抑制協力区域) 時間 PM5:00~PM10:30
- 無料駐車場(公共施設等) ( )内は開放時間
- P 有料駐車場
- 無料駐輪場
- 信号交差点
- ◉ 祭本部
- i 観光案内所
- 国道
- 県道
- 常設トイレ 仮設トイレ

天王祭 水上イベント・花火等 協賛金募集中!!

皆様と尾張津島天王祭を盛り上げるべく
水上イベント・花火等協賛金の寄附に協力をお願いいたします。

お問合せ **尾張津島天王祭連絡協議会** (一社)津島市観光協会 TEL(0567)28-8051

◆お願い

(1)飲酒運転は絶対しないでください。
(2)祭り会場内の危険区域内に絶対立入らないでください。
(3)無人飛行機等(ラジコン、ドローン等)の持ち込み、操縦・飛行、撮影等の行為は固くお断りします。
(4)桟敷から物を投げないでください。
(5)タバコ・花火には注意してください。
(6)警察官、祭り関係者及びマイク放送の注意、指示事項にご協力ください。
(7)花火の降灰にご注意ください。

◆お帰りの最終時間(津島駅発)土・休日

■名鉄電車

名古屋方面	23時40分	須ケ口行	(須ケ口で急行金山行に接続)
一宮・岐阜方面	23時30分	名鉄一宮行	(名鉄一宮で特急名鉄岐阜行に接続)
佐屋・弥富方面	23時07分	弥富行	
	23時52分	佐屋行	

■名鉄バス・各線行先別最終時刻

名鉄バスセンター行(岩塚経由)	21:14	中村公園(西)行(安松経由)	22:11
地下鉄岩塚行(百町経由)	21:45	大治役場前行(安松経由)	23:00
新家行(百町経由)	22:15		
名鉄バスセンター行(安松経由)	21:56		

※6月現在の予定ですので当日ご確認ください。

お問い合わせ
(一社)津島市観光協会 平日10時~17時 ☎0567-28-8051
津島市建設産業部産業振興課 平日9時~17時 ☎0567-55-9663

天王祭 検索

※ゴミ等は各自でお持ち帰りください。※自転車でお越しの方は、指定の駐輪場をご利用ください。

2019